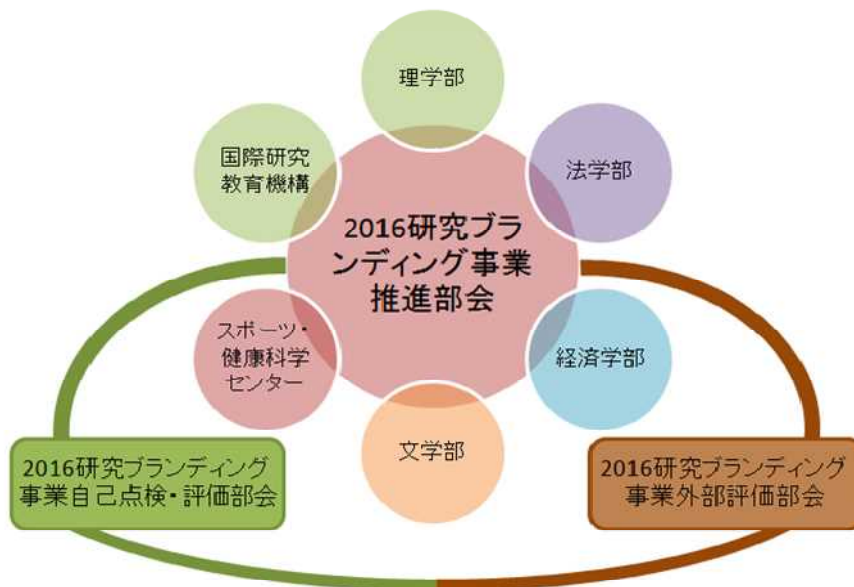


本事業の実施体制は、以下のとおりである。

## 【体制図】



### 1. 全学的な研究実施体制の整備<ヘッドクォーター制の構築>

全学的な研究推進のため、学長をトップとする「2016研究ブランディング事業推進部会」を組織する。メンバーは以下のとおりである。

- ・学長
- ・副学長（研究部門担当）
- ・理学部3名（生命科学科：岡本治正教授・高島明彦教授・阿形清和教授）
- ・法学部2名（法学科：岡孝教授・橋本陽子教授）
- ・経済学部1名（経営学科：遠藤久夫教授）
- ・文学部2名（哲学科：小島和男准教授、心理学科：山本政人教授）
- ・スポーツ・健康科学センター1名（高丸功教授）
- ・国際研究教育機構1名（村松弘一教授）

### 2. 自己点検・評価制度の整備

3名の学内教員（理系2名・文系1名）からなる「2016研究ブランディング事業自己点検・評価部会」を組織する。メンバーは以下のとおりである。3名のうち1名は本事業における生命科学分野の研究者とするが、他の2名は本事業研究メンバーではない化学・心理学分野の研究者とし、化学分野の研究者が部会長となることを決定している。なお、「2016研究ブランディング事業自己点検・評価部会」は、補助事業期間中にわたり、毎年度1回開催する。

- ・理学部2名（化学科：岩田耕一教授、生命科学科：安達卓教授）
- ・文学部1名（心理学科：吉川眞理教授）

### 3. 外部評価を継続的に受ける体制整備

外部評価委員会準備委員会（2016年度のみ設置）及び外部評価委員会（2017年度設置意思決定済み）の分科会として、各委員会委員のうち、3名の委員（理系2名・文系1名）からなる「2016研究ブランディング事業外部評価部会」を組織する。なお、「2016研究ブランディング事業外部評価部会」は、補助事業期間中にわたり、毎年度1回開催する。

### 4. 全学的な研究支援体制の整備

本事業のみならず、研究費の公募情報や特許申請・維持等に関する全学的な研究支援は、国際研究教育機構・研究支援センターが担当している。なお、本事業の事務とりまとめおよび国際的な研究成果の公開・広報は国際研究教育機構が担当する。

### 5. 学外研究者との連携

上記の他、学外者との研究連携として、慶應義塾大学医学部・岡野栄之教授を代表とする研究チームとの連携を計画している。